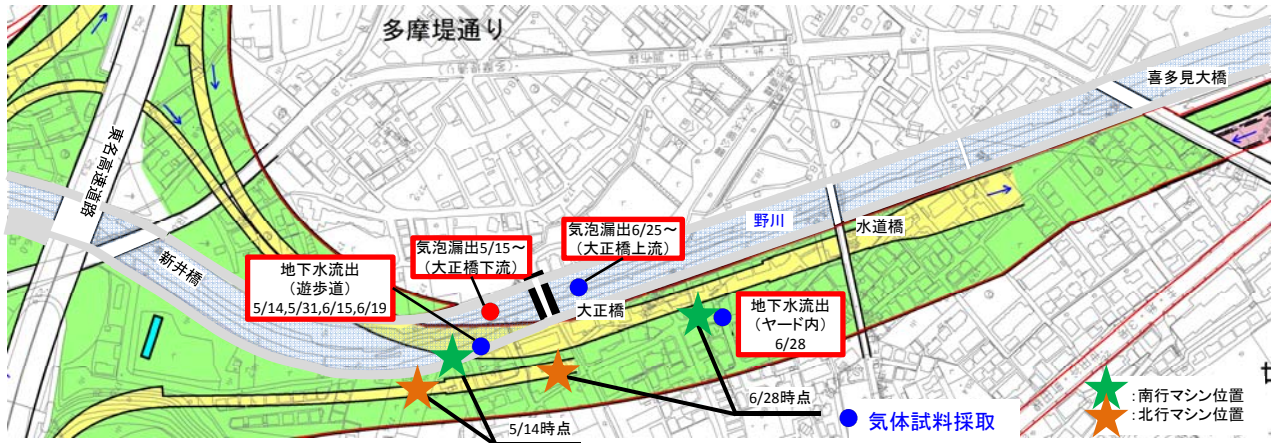


調査結果(気体の成分調査)

- 気泡漏出箇所や地下水流出箇所周辺の気体の成分調査の測定値は、基準を満足しています。
- なお気泡自体の空気成分も含めて簡易測定を実施し、その酸素濃度は低いことを確認しておりますが、漏出している空気量は大気に比して微量であり、周辺環境に影響がないことを有識者に確認しております。



試験項目	単位	基準値	測定値(H30.6.27採取)		測定値(H30.7.19採取)		測定値(H30.7.19採取)	
			野川気泡漏出(大正橋上流)		地下水流出(遊歩道)		地下水流出(工事ヤード内)	
			水面直上	河床から1.5m	地盤面	地盤面から1.5m	地盤面	地盤面から1.5m
酸素	%(vol)	18%(vol)以上(酸素欠乏症等防止規則より)	20.8	21.1	21.1	21.1	21.1	21.1
窒素	%(vol)	-	79.1	78.7	78.6	78.5	78.7	78.5
二酸化炭素	%(vol)	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
メタン	%(vol)	1.5%(vol)未満(労働安全衛生規則より)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
硫化水素	ppm(vol)	10ppm(vol)以下(労働安全衛生規則より)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

○河川の気泡は地下のシールド工の掘進時に用いる空気のごく一部が土中の空気の通り道に集まり河床から漏出したものです。気泡自体の空気成分の簡易測定では酸素濃度が1.5~6.4%であることを確認しております。工事で用いる空気は通常の空気ですが、一般的に地中では酸化還元反応により酸素が消費されるため地中を通過した空気の酸素濃度は低くなることを有識者に確認しております。なお気泡漏出箇所周辺の地下室等で酸素濃度を念のため測定しており問題ないことを確認しております。

気泡漏出状況

野川 大正橋上流



気体採取状況

野川遊歩道 観測井



野川気泡漏出箇所

